

筑波大学の学生宿舎に住んでおり、つくばセンターへ行く時によくバスを利用させてもらっているのですが、つくばの交通政策の話題は身近に感じた。バスなどの公共交通機関を使うのはつくばセンターに行く時だけで、それ以外はほとんど利用していないし、そもそも路線がない。周りの車をもっている人も、例えばイーアスに行く時は自家用車を使うしかないという状況である。

フォーラムでも二酸化炭素の排出削減には日々の自家用車の使用を控えることがとても有効であるという発表があり、つくば市の公共交通網を充実させる必要性を感じた。また、学生にとってはバスの料金が高く、あまりバスを利用しない理由の一つである。なので市町村で補助金を出し、バスの料金を下げてくれたら嬉しいなと思った。

つくば市は学会や国際会議など多くのイベントの誘致を行っており、日本だけじゃなく世界各国から人が訪れる地域である。そのような人の多くは、自家用車ではなく公共交通機関を利用してつくばにやってくる。そういう人たちが会議の合間や終わったあとにつくばの観光がしやすくなれば、街全体が潤っていいなと思った。そういった意味でも交通公共機関の充実が必要であると感じた。

二酸化炭素の排出削減のために、できるだけ公共機関を利用してもらいたい。そのために、これからの都市をどのように作っていったらよいか。つくばのような比較的新しい街で、そのような議論をするのはとても面白く感じた。

市や町村の交通政策をどうやって作ったのか、政治を見ることができると貴重な体験であった。